
遊戯王GX!? つぼい物語

広辞苑DX

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

遊戯王GX！？ つばい物語

【Nコード】

N2817Y

【作者名】

広辞苑DX

【あらすじ】

「ん……………」

目が覚めると知らない家だった

なんか知らんが転生？あゝはいはいそーすつかW
生き残れるようにがんばりましゅ。

主人公こんなヤツじゃないからね

駄文。亀更新

つばい1話(前書き)

はじめまして

こんな駄文ですが

読んでくれたらうれしいです

つばい1話

「ん……………」

目が覚めると知らない家だった

「あのとぎトラックにひかれたはずなんだが……
まあいいが、TVでもつけよう」

「ッ……」

『本日、海馬コーポレーションで……………』

……………は？

海馬コーポレーション？

ゆ、遊戯王の世界だと！？
ゆ、夢ではないみたいだな

周りには鞆が一つ

中身は予想道理カード

と、手紙

『よっ、そっちに着いたみたいだな。

急なことでビビったかもしんねえが、転生させた。

理由は……俺のせいでお前が死んだからな。

お詫びにほとんど（・・・）のカードを送った。

そこはGXの世界。

十代と同じ年だからな（笑）

んじゃ、頑張れよ（笑）

PS・シンクろは使えるよ、使ってる人もいるし
』

おK……………
「しよーがないからデッキ作るか……」

そして当日
え？なんのかつて？

いやいや、GXといえばデュエルアカデミアだろ

俺は受験番号20番だな

おっと、呼ばれたみたいだな
んじゃ、逝ってきます

「お前が受験番号20番か……」

「そうです」

「軽くひねってやる！！デュエルだ！！」

「おれの『俺のターン！！』……横取りすんなよ……」

「モンスターを1枚、カードを5枚伏せてターンエンドだ」

「俺のターン!!!」

あれはメタポなのか？そうなんですか？この時代だから、そうしか考えられないな（笑）

「モンスターを一枚伏せる。カードを三枚伏せてターンエンドだ」

試験管

LP4000

モンスター

裏守備1枚

魔法・罫

セット5枚

自分

LP4000

モンスター

裏守備1枚

魔法・罫

セット3枚

「俺のターン！」

「モンスターを反転召喚、メタモルポットだ。リバーズ効果発動で手札を捨て5枚ドロールド！」

アタック！

メタモルポットでセットモンスターに攻撃だ！！」

「トラップ発動。和睦の使者」

「だ、だにいい！！」

「セットモンスターはワーム・リンクスだ」

「モンスターを一枚伏せてターンエンドだ」

「エンドフェイズにドロールドして、俺のターンドロールド」

ジャンク・シンクロンを召喚して効果発動だ、

チューニングサポーターを特殊召喚する。

機械複製術を発動して、チューニングサポーターを2体特殊召喚

レベル2チューニングサポーター2体、レベル1のチューニングサポーターにレベル3ジャンク・シンクロンをチューニング！

シンクロ召喚！！

破壊せよ！！

ジャンク・デストロイヤー！！

チューニングサポーターの効果で三枚ドロ―

「な、なんだそいつは！？」

「こいつはシンクロ召喚に成功したとき、素材にしたチューナー以外のモンスターの数だけフィールドのカードを破壊できる。」

「だ、だにいい！！」

「行けっ

俺は伏せてある魔法・罠カードを破壊する！！

右、真ん中、左のカードだ！！」

「だ、だにいい!!」

なんなんだこいつ? 「だ、だにいい!!」しか言ってないなW

WW

「さらにシンクロキャンセルを発動し、さっきの4体を特殊召喚だ。さらにシンクロ召喚だ」

レベル2チューニングサポーター3体にレベル3ジャンク・シンクロンをチューニング
いでよ

氷結界の龍トリシューラ!!
チューニングサポーターの効果で三枚ドロー。

さらにトリシューラの効果で墓地のメタモルポット、右の魔法、手札を一枚、一番右の奴だ、除外だ!」

「だ、だにいい!!」

うぜえ

終わらせるか…

「手札から調律を発動

デッキの一番上を墓地にデッキからクイック・シンクロンを手札に、そして手札を一枚捨て、特殊召喚する。

墓地にあるレベル・ステイラーの効果、トリシューラのレベルを1下げて特殊召喚。

レベル5クイック・シンクロンにレベル1レベルステイラー、レベル2ワーム・リンクスをチューニング
シンクロ召喚

破壊せよ

ジャンク・デストロイヤー！！

破壊するカードはセットモンスターだ」

「や、やめっ……………」

「だが断る！！」

2体でダイレクトアタックだ！！」

試験管

LP4000 - (2700 + 2600) = 1300

「あざつしたww」

「は、反則だ・・・」

「は？」

「あんなモンスター反則だ!!」

なんなんだ、この屑？

まあいい、帰るか・・・

結果を待っただけだ。

っばい2話(前書き)

駄文ですなえ。

主人公の名前でできてない。

っばい2話

結果がきたぞ！！！

オシリスレッドだ！！

なぜかって？

……………どーせあの試験管だろ
間違いではないはず…
エリートエリートの培養品だから

とゆーわけで船に乗ってるんですよ（笑）

ずっと部屋にこもってるからなっ（ー＋）キリッ

新しいデッキを作ってたっ!!

えっと……これを、……んー……こーかな?……そし
たら……

+ - - + - - + - - + - - + - - + - - + - - +

どーこーしてるうちに着いたぜ!!
フラグ満載の学園に

ふー……
ぱっぱと寮に行っで寝とくか……

主人公とはあんま関わらない方針でいこう。うん、そうしよう(笑)

入学式?サボる。訳にはいかんな。

しよーがないからテキストに……

+ - + - + - + - + - + - + - + - +

終わったよ……………
ぱっぱと帰って寝るか……………

Z Z Z
Z Z Z
Z Z Z
Z Z Z
Z Z Z

ドンドン
ドンドン！
ドンドン！！

うるさいな

「ハイハイ、うるさいからドアたたくな」

「俺、遊城十代！！」

だから？

「寮の歓迎会があるんだよ!」

知ってる。で?

「おまえ、来ないのか?」

あー……少し嘘つくか……

「だる……体調が少し悪いから後で行く」

「わかった!おまえ、あとでデュエルしようぜ!?!じゃな!」

デュエルフラグがたちました。

……デュエル強制かよ

まあいいか……寝る。

おやすみ。

さあ、明日から学校だ……
だりい……

っぽい三話

ふぁーあぁ・・・

ねみい・・・

あぁ・・・

学校か。

行かないとな・・・

- クロノス side -

今日から授業なノーネ

レッドのやつらに恥ずかしい目に合わせてやるノーネ

- 主人公 side -

ねみ・・・

授業か・・・

まあいい、寝る。

おやすみzzz

- クロノス side -

おや？あのドロップアウトボーイが寝てるノーネ

当てるやるノーネ

「では、フィールド魔法について・・・シニョール寿！！説明するノーネ！！」

「寿って・・・おれか・・・」

みんなに説明してなかったな。

俺は「寿 庄司」って言うんだ。

って、誰に説明してんだろ？

まあいい・・・ぱっぱと答えるか・・・

「フィールド魔法とは……………」

キンクリTIMEDだ！！

……………」

「も、もういいのネ」

おやすみ……

きーんこーんかんこーん

やっと授業終わったか。

ん？みんなどつかいっぞ？
午後から実技？

あー・・・カード買いに行ったのか

おれ？

無理に入れても仕方ないな
このネタデッキに

さあーて？

相手はどんなやつだろう？

さて、行くか。

おっ、人が多いな。

「その君・・・。」

「ん？」

「受験番号20番だろう？」

「ああ、そうだが、お前は誰だ？」

「これは失礼した。受験番号1番三沢大地だ」

「それで?どうした?」

「君がシンクロ召喚というものを使ったからどんなやつかなと・・・」

「ああ・・・今日も使ってやるから楽しみにしてな」

「わかった楽しみに待っとくよ。じゃあな」

さて、相手は誰だろうか?

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2817y/>

遊戯王GX!? っばい物語

2011年12月15日02時53分発行